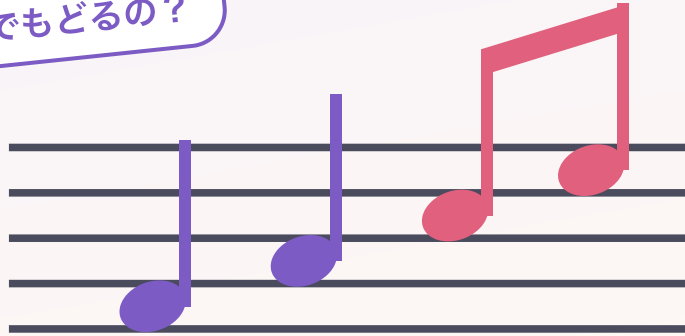


ここでもどるの？



楽譜は地図みたい

反復記号と楽譜の道順

楽譜には、進む道順が書いてある



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

楽譜の道順のきほん	3～5
もどる合図	6～9
道順を読みとる	10～15
使ってみる	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

リピート記号は、はさまれた部分をくり返す合図です。

repeat sign

縦線と点で書かれ、はさまれた部分をもう一度演奏する記号

- 点が右向きの記号で始まり、点が左向きの記号で終わります。
- 始まりの記号がない場合は、曲の最初にもどってくり返します。

1. 「1・2・3・4」を1回歌った後、リピート記号があると考えてもう一度歌ってみよう。

くり返すたびに、ちがう終わり方をすることがあります。

くり返すたびに、ちがう終わり方をすることがあります。

first/second ending

1回目と2回目で、演奏する小節を切りかえるためのかっこ

- 1回目は1番かっこを演奏し、リピートしたら1番かっこを飛ばして2番かっこに進みます。
- 同じメロディでも、終わり方だけ変えたいときに使われます。

1.1番かっこと2番かっこ、2回目に演奏するのはどちらですか。

D.C. (ダ・カーポ)

D.C.は、曲の最初にもどる合図です。

D.C. (ダ・カーポ)

Da Capo

「はじめから」という意味。曲のいちばん最初にもどる合図



Ken

曲の途中にD.C.って書いてあるよ。

Emma

曲のいちばん最初にもどって、また演奏するんだよ。



ポイント

- D.C.が出てきたら、楽譜のいちばん最初の音符にもどります。

やってみよう

1. D.C.の意味を、自分の言葉で書こう。

書いて覚えよう

D.S. (ダル・セーニョ) ・セーニョ記号

D.S.は、セーニョ記号の場所にもどる合図です。

D.S. (ダル・セーニョ)

Dal Segno

「セーニョ記号の場所から」という意味

セーニョ記号 (%)

segno

D.S.でもどる場所を示す記号

ポイント

- D.C.が「曲の最初」にもどるのに対し、D.S.は「セーニョ記号がある場所」にもどります。
- セーニョ記号は、楽譜の途中に前もって書かれています。

やってみよう

1. D.C.とD.S.のちがいを、ひとことで書こう。

書いて覚えよう

Fine（フィーネ）

Fineは、曲が本当に終わる場所を示します。

Fine（フィーネ）

the end

D.C.やD.S.でもどった後、曲を終える場所を示す言葉

ポイント

- 「D.C. al Fine」と書かれていたら、最初にもどり、Fineと書かれた場所で曲を終えます。
- Fineは、楽譜のいちばん最後ではなく、途中にあることが多いです。

やってみよう

- 「D.C. al Fine」の意味を説明してみよう。

書いて覚えよう

コーダ記号

コーダ記号は、別の場所へジャンプする合図です。

コーダ記号 (⊕)

coda

「al Coda」の指示とともに使われ、曲の結びの部分へジャンプする記号

ポイント

- 「to Coda」の指示が出てきたら、同じコーダ記号が書かれた場所までジャンプします。
- コーダは、曲の結びとして用意された特別な部分です。

やってみよう

1. Fineとコーダ、どちらも曲の終わりに関係する言葉です。ちがいを考えてみよう。

書いて覚えよう

道順を指でたどる・道順クイズ

実際に指でなぞって、道順を確認しよう。

ポイント

- 初めて見る楽譜は、演奏する前に指でなぞって道順を確認すると安心です。
- リピート記号、D.C.、D.S.、Fine、コーダの順に、どこにあるかチェックしましょう。

道順クイズ

1. D.C.でもどる場所は？ _____
2. D.S.でもどる場所は？ _____

やってみよう

1. 身近な楽譜があれば、反復記号がないか指でさがしてみよう。

書いて覚えよう

反復記号のある楽譜の順番を、紙に書き出してみよう。

反復記号のある楽譜の順番を、紙に書き出してみよう。

反復記号を使うと、少ない紙面で長い曲を書けます。

- 反復記号がなければ、くり返す部分をすべて書き写さなければなりません。
- 反復記号のおかげで、楽譜がすっきりし、ページ数も少なくて済みます。

やってみよう

1. 反復記号がなかったら、楽譜はどのようなと思いますか。

書いて覚えよう

道順をまちがえないコツ

道順をまちがえないための工夫を知ろう。

まちがえやすいこと

よくある例

D.C.とD.S.を混同する

もどる場所をまちがえる

1番かっこを2回目も弾いてしまう

飛ばすのを忘れる

コツ

こうしてみよう

記号に丸をつける

演奏前に目立たせておく

矢印を書きこむ

実際の道順を線で書く

ポイント

- 演奏前に一度、鉛筆で道順を書きこんでおくとう安心です。

書いて覚えよう

- 1番・2番・3番のように、同じメロディに歌詞だけ変えてくり返す歌がたくさんあります。
- これも、1つのメロディを反復して使う工夫のひとつです。

1.1番・2番のある歌を1つ思い出し、歌詞がどう変わるか書こう。

反復記号がよく使われる曲を聴いてみよう。

- 行進曲や合唱曲には、反復記号がよく使われます。
- 聴きながら「今どこをくり返しているか」を考えると、道順を意識する練習になります。

やってみよう

1. 好きな曲を1曲聴いて、同じメロディがくり返される部分があるか探してみよう。

書いて覚えよう

- 楽譜のはしからはしまで、まず反復記号がないかざっと確認しましょう。
- 記号を見つけたら、それぞれの意味を思い出しながら道順を確認します。

1. 手元の楽譜（教科書など）で、反復記号を1つでもさがしてみよう。

1. A・Bの2つの部分を考え、リピータ記号を使って「A→A→B」の順になるように書いてみよう。

- 自分で書いてみると、記号の意味がより深く理解できます。

道順を決めて演奏

自分で決めた道順で、演奏や手拍子をしてみよう。

Aの部分

Bの部分

決めた道順

Ken の例

Aの部分 タン・タン・タン・タン／Bの部分 タタ・タタ・タン・ウン／決めた道順 A→A→B

ポイント

- 決めた道順を紙に書いておくと、演奏中に迷いません。

書いて覚えよう

反復記号を使って、自分だけの楽譜の地図を作ろう。

反復記号を使って、自分だけの楽譜の地図を作ろう。

やってみよう

1. A・B・Cの3つの部分と、D.C.やコードなどの記号を使って、自分なりの曲の構成を考えてみよう。

ポイント

- 決まりを守っていれば、道順の組み合わせ方は自由です。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

道順を意識して、手拍子で表現してみよう。

A

(Aの部分) タン・タン・タン・タン

B

(くり返し) タン・タン・タン・タン

A・
B

(Bの部分へ) _____

ポイント

- リピート記号の役目を、実際に手拍子でくり返して体感してみましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達へのステップです。

つまずき

よくあること

記号を見落とす

小さく書かれた記号に気づかない

どこにもどるか忘れる

D.C.とD.S.を混同する

コツ

こうしてみよう

演奏前に確認する

全体をざっと見わたす

言葉で覚える

「はじめから」「しるしから」と唱える

ポイント

- 言葉の意味と一緒に覚えると、混同しにくくなります。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

くり返しの記号

☐ リピート記号

はさまれた部分をくり返す

☐ 1番かっこ

1回目に演奏する部分

☐ 2番かっこ

2回目に演奏する部分

もどる合図

☐ D.C.

曲の最初にもどる

☐ D.S.

セーニョ記号にもどる

☐ セーニョ記号

D.S.でもどる目印

終わりの合図

☐ Fine

曲を終える場所

☐ コーダ記号

結びの部分へジャンプ

☐ 道順

演奏する順番

その他

☐ 楽譜の地図

反復記号でできた道すじ

☐ 演奏順

実際に演奏する順序

☐ 構成

曲の組み立て方

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。記号を知ると、楽譜を読む自信が深まります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 記号と意味を線でむすぼう

- | | | |
|--------|---|-------------------|
| D.C. | ● | ● ア. はさまれた部分をくり返す |
| D.S. | ● | ● イ. 曲の最初にもどる |
| Fine | ● | ● ウ. 結びの部分へジャンプ |
| コーダ記号 | ● | ● エ. 曲を終える場所 |
| リピート記号 | ● | ● オ. セーニョ記号にもどる |

2. もどる場所を書こう

1. D.C. → _____
2. D.S. → _____

3. 正しい言葉を選ぼう

1. はさまれた部分をくり返す記号 → (リピート記号 / コーダ記号)
2. 結びの部分へジャンプする記号 → (セーニョ記号 / コーダ記号)

書いて覚えよう

書いて覚えよう

D.C.・D.S.の意味を声に出す

好きな曲のくり返し部分を考える

自分で決めた道順で鼻歌

手元の楽譜で記号をさがす

道順ノートに1行書く

家族と反復記号クイズを出し合う

- 1回5分でも、毎日続けることが力になります。

発表してみよう・感想を書こう

反復記号を使った演奏を、人に聴いてもらおう。

発表した曲

使った反復記号

気づいたこと

聴いてほしい人

Emma の例

発表した曲 自分で作ったA・Bの手拍子／使った反復記号 リピート記号／気づいたこと くり返すと安心して演奏できた

感想を3文で書こう

① 反復記号を学んで、～な発見がありました。② とくに、～のところが面白かったです。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

楽譜の道順の世界は、ここからさらに広がります。

もっと知りたい人へ

楽譜を見る

好きな曲の反復記号をさがす

合唱曲で

1番・2番の歌詞を見くらべる

演奏会へ

長い曲の構成を体感する

次のステップ

楽譜を読んで歌う

視唱の練習を始める

曲の構成

もっと長い曲の組み立てを学ぶ

表現

道順と強弱・速さを組み合わせる

ポイント

- この教材の次は「楽譜を読んで歌う」。楽譜を見て声に出す練習に進んでいきます。

書いて覚えよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

3. これから意識してみたいことは？

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

反復記号と楽譜の道順チャレンジ

教室の外でも、道順の学びはすぐに楽しめます。

さがそう

身近な楽譜で**反復記号**をさがす

たどろう

見つけた記号を指でたどって道順を確認する

作ろう

自分だけの反復記号つきリズムを作る

こたえ

L9-10 2. 曲の最初 / セーニョ記号の場所

L33 (例) 反復記号は、楽譜の中で演奏する順番を示す記号。

L26 D.C.→イ D.S.→オ Fine→エ コーダ記号→ウ リピート記号→
ア 2. 曲の最初 / セーニョ記号の場所 3. リピート記号 / コー
ダ記号

書いて覚えよう

反復記号と楽譜の道順 (Season 2 | No.19)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。